

第1回雲南市上下水道料金等審議会 議事録

1. 日時：令和8年8月25日（火） 午後1時30分～午後3時20分

2. 会場：雲南市上下水道局 2階会議室

3. 出席者

（審議会委員）

福岡久仁子 委員、広野充明 委員、鐘撞光章 委員、松村享江 委員、田原仁美 委員、徳島未美 委員、医療法人陶朋会 平成記念病院 事務局長 永井大介 委員、パナソニックソーラーシステム製造株式会社 事業管理部 統括主幹 小村亮二 委員、片寄邦良 委員、廣田俊之 委員

・・・（委員10名）

欠席者 委員3名

（事務局）

西村健一 副市長、飯島 昭 上下水道局長、村重悦子 次長兼営業課長、山根史朗 総務課長、今岡 久 管路課長、小田川謙一 施設課長、吾郷雄一 給排水課長、蘆田裕樹 営業課主査、藤原貴博 総務課主幹

・・・（事務局9名）

4. 審議日程

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）西村副市長あいさつ

（4）会長、副会長の選出について

（5）会長、副会長あいさつ

（6）事務局職員の紹介

（7）諮問

○雲南市水道事業及び下水道事業経営戦略の改定について

（8）審議

○雲南市水道事業及び下水道事業経営戦略の改定について

○その他

（9）次回審議会の開催について

（10）閉会

[次第]

1. 開会（進行：村重次長）

2. 委嘱状交付

副市長から委員に委嘱状の交付（代表 福岡久仁子委員）

3. 副市長あいさつ

西村健一 副市長

4. 会長、副会長の選出について

委員の互選により以下のとおり選出

(1) 審議会会長 広野充明

(2) 審議会副会長 福間久仁子

5. 会長、副会長あいさつ

(1) 広野充明 審議会会長

(2) 福間久仁子 審議会副会長

6. 事務局職員の紹介

7. 諮問

西村健一副市長から広野充明会長へ「雲南市水道事業及び下水道事業経営戦略の改定について」諮問を行った … 資料 NO.1

雲南市上下水道料金等審議会条例第7条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しており会議が成立していることを報告

----- 以後、審議会条例第7条に基づき、会長が議長となる -----

5. 審議

(1)雲南市水道事業及び下水道事業経営戦略の改定について

… 資料 NO.2～5(説明:小田川課長、山根課長)

事務局より説明した後、委員からの質疑を行った。

【質疑】

① 雲南市水道事業経営戦略の改定について

(永井委員)

経営戦略の計画期間が10年間なのは何故か。もう少し短くても良いのではないか。

(山根課長)

総務省の通知に基づき10年で作成している。状況に応じて、都度見直しを行いながら進めていきたい。

(永井委員)

人件費は1.5%増を見込んでいるが、賃上げが現状のペースで進めば1.5%では収まらないのではないか。

(山根課長)

人事異動を考慮した上で今後 10 年間、毎年度 1.5%増を見込んでいる。

(永井委員)

令和 14 年度に料金改定を行うのは何故か。

(山根課長)

料金改定を行わない場合、令和 14 年度から当年度純利益がマイナスになる見込みである。令和 14 年～18 年度までのマイナスを補うために令和 14 年度に改定を行いたい。

(永井委員)

資金収支は令和 11 年度頃から大幅なマイナスが続くことが予想されるため、より早い段階から料金改定を実施しても良いのではないか。

(山根課長)

企業会計の基本においてはキャッシュが不足していることを理由に料金改定を行うのではなく、経営の収支を見ながら改定を検討するため減少分は内部努力で補いたい。

(片寄委員)

動力費は毎年 1%増を見込んでいるが、施設統合後も増加するのか。

(山根課長)

統廃合による動力費の減少は想定していない。昨今の物価上昇を含めて毎年度 1%の上昇を見込んでいる。

(片寄委員)

料金改定の際に、逦増制について合わせて検討して欲しい。

(山根課長)

料金改定の段階で逦増制について見直しを検討したいと考えている。

(片寄委員)

島根県では広域化の話は出ているのか。

(山根課長)

島根県では広域化推進協議会を立ち上げ、各市町村の財政状況のシミュレーションを行っている。広域化のメリットについて協議が進められており、その進捗状況を踏まえ今後の対応を検討している。

(廣田委員)

災害に強く持続可能な上下水道システムというのは具体的にどのようなものか。

(小田川課長)

主に水道管に関するものであり、口径 50mm 以上の水道管については更新時に必ず地震に強い耐震管に交換している。全て交換するまで概ね 50 年かかる見込みである。

(廣田委員)

企業の増加により水道使用料の増加も期待されるが、今後企業誘致の見込みはあるのか。

(山根課長)

現在企業誘致は見込んでいない。

(広野会長)

経営戦略が 10 年というのは長すぎる。国の方針に基づき 10 年で作成するのは良いが、ローリングを繰り返して都度経営の見直しをするべきである。

(飯島局長)

常に収支状況を確認しながら、必要に応じて改定に向け対応していきたい。また毎年決算を行うため前年度の決算と比較しながら、収支を検証する必要があると考えている。貴重なご意見として進めていきたい。

② 雲南市下水道事業経営戦略の改定について

(片寄委員)

料金改定について令和 14 年度に水道事業 12%、下水道事業 15%同時に実施した場合、合計で約 30%上昇することになるため時期を調整した方が良いのではないかと。

(山根課長)

収支計画を策定した結果、令和 14 年度に同時に当年度純利益がマイナスとなり、料金改定が必要となった。毎年予算状況を確認しながら健全な経営を行い、上げ幅や年度を調整する努力をしていきたい。

(永井委員)

令和 18 年度には留保資金の残高が令和 7 年度の約 2 倍になる。一方企業債の残高は、令和 18 年度に令和 7 年度の半分程度まで減少するものの、依然として約 44 億残る。留保資金と企業債の残高のバランスはどの程度が適切であるのか。留保資金がここまで必要ないのであれば起債を抑制するなどの対応も考えられると思うが、そのあたりについてはどのように考えているか。

(山根課長)

次回までに回答させていただきたい。

(鐘撞委員)

料金改定の時期は上水道、下水道ともに令和 14 年度を予定しているが、同時期に実施することが適切かどうかについて早めに検討していただきたい。

(山根課長)

毎年の決算、予算状況を確認しながら、可能な限り早い段階で判断していきたい。

(広野会長)

前回の審議会で下水道事業は使用料改定を5年間据え置いたが、料金改定については市民の負担を考慮しながら慎重に行って欲しい。必要があればその都度審議会にて議論し、市民への周知を十分に図っていただきたい。

6. その他

… 資料 NO.6

①水道メーターの隔月検針実施について

(広野会長)

水道メーター検針を毎月行っている市は、島根県内の8市では雲南市のみか。

(蘆田主査)

雲南市のみである。

(飯島局長)

他の7市は2か月検針である。近隣の奥出雲町や飯南町も2か月検針を実施している。

②公共ますの設置基準の見直しについて

特に意見なし

③令和 8 年度熊本地震の災害派遣について
特に意見なし

④水道料金の基本料金の減免について
(広野委員)

水道料金の減免は、一般会計からの繰り入れにより実施するのか。

(西村副市長)
一般会計から繰り入れて実施する予定である。

(福間副会長)
水道料金の減免について、下水道の請求は関係ないのか。

(村重次長)
今回は基本料金の減免のみである。下水道使用料については変更なく請求する。

----- 審議終了 -----

7. 次回審議会の開催について

日時 令和8年10月16日(金)

時間 午後1時30分から

場所 雲南市上下水道局 2階会議室

8. 閉会

飯島局長あいさつ